

平成25年 萩市議会9月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	1	佐々木 武 夫	9月 9日午前
2	5	大 村 赳 夫	
3	9	中 野 伸	午後
4	3	西 中 忍	
5	2	関 伸 久	
6	4	棕 晶 雄	9月10日午前
7	18	宮 内 欣 二	
8	10	広 兼 義 烈	午後
9	14	斉 藤 眞 治	
10	12	木 村 靖 枝	
11	24	世 良 眞名夫	9月11日午前
12	23	西 元 勇	
13	19	諸 岡 皓 二	午後

質問順位	1	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 災害対策について	1. 被災した空き家対策について 2. 農業再生に向けての助成、支援対策について 1) 田畑の早期復旧に向けての助成支援対策 2) J Aや関係機関との連携強化と復旧に向けての協力体制の確立について		
2. 再生可能エネルギー活用に向けての取り組みについて	低炭素化社会に向けてのプロジェクトチームの活動、研究成果と今後の課題、取り組みについて		

質問順位	2	質問者	大村 赳夫 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 「災害復興局」の設置について	<p>7月28日に発生した記録的豪雨によって被災された皆様には大変な苦しみを与えています。</p> <p>災害の復旧・復興に全力をあげて行かなければなりません。</p> <p>災害復興局の設置は、市民の皆様にも勇気と希望を与えるものです。</p> <p>その計画・構想について伺います。</p>		
2. 7月2日にロンドンで行われたアレキサンダーウィリアムソン教授御夫妻の顕彰碑除幕式について	<p>市報7月15日号の表紙を飾った写真に万感胸に迫る思いです。</p> <p>長州ファイブを励まし、薩摩藩の留学生を支えられた御功績は、日本近代化の父と言えます。</p> <p>このときの様子をもう少し語っていただきたいです。</p>		
3. 観光パフォーマー事業について	<p>市報7月15日号は議会だよりをはさんで届けられました。</p> <p>その中で、観光パフォーマー事業について答弁として次のように掲載されています。</p> <p>「事業者は、6月1日から事業を開始しています。」</p> <p>すると、すでに3ヶ月が経過していますから一部予算執行はされたのでしょうか。伺います。</p>		

質問順位	3	質問者	中野伸議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 県道萩篠生線道路改良について	<p>1. 県道萩篠生線の今後の取り組みについて</p> <p>以前にも県道萩篠生線の道路改良について、質問をさせていただいたが、言うまでもなく県道萩篠生線は福栄、むつみ地域はもとより、萩市にとって重要な基幹道路で生活路線である。そして観光産業にとっても萩津和野観光ルートであり、加えて、国道191号木与～宇田間が通行止めとなったら迂回路線でもある。</p> <p>7月28日の豪雨災害は甚大な被害をもたらしたが、須佐の国道191号、須佐・田万川地域の市民のみなさんにとって重要な生活道路である。</p> <p>約一週間で片側通行になったと、迅速な対応であったと思う。</p> <p>国道191号と比べてはいけませんが、県道萩篠生線も7月上旬にリサイクルセンター近くが崩れ、約1ヶ月近く通行止めとなった。</p> <p>この間、通学生はもとより、福栄、むつみ地域の皆さんは国道315号、大井経由、奈古経由や福栄の生野～高坂～川上経由だとか、迂回を余儀なくされ、ガソリン高騰のおり、生活にも、通学にも大きく支障をきたした。</p> <p>片側通行になった時には市民の方々は、主要道路の重要性をしみじみ感じられた。</p> <p>この路線の整備促進については、日頃から県に要望活動を展開されていることは承知しているが、むつみ地域では殆ど解消されたが、萩～福栄地域間は抜本的に災害にも強い道路に解消しなければならない。</p> <p>迂回路線通行時には大型車、大型トレーラー、観光バスなど、大型車とすれ違う際は止まって通過するのを待つという状況でもある。</p> <p>この路線は、萩市街地に大半の生活圏をおく、むつみ地域、福栄地域の市民の方からの要望も多く聞かれる。</p> <p>朝夕の通勤、買い物、燃料の確保、農林業の資材の流通など絶大な整備効果はあると考える。</p> <p>今回の災害を受けて、一日も早く、安心・安全で、災害に</p>		

	<p>強い道を通行できるよう、だれもが願っている。</p> <p>市長は、日頃から、<u>道路は萩市にとって命運がかかっている</u>と言っておられ、最優先に取り組まれていることは十分承知しており、敬意を表すところである。</p> <p>この路線の整備促進は沿線住民の長年の要望でもある。</p> <p>今後、さらなる取り組みについて市長のご所見をお聞きする。</p>
<p>2. 高齢者対策について</p>	<p><u>1. 高齢者の足の確保について</u></p> <p>市長は、4月議会、施政方針で超高齢社会へどのように対応していくかについて大きく</p> <p><u>①高齢者福祉の充実</u></p> <p><u>②人にやさしい生活環境の推進</u></p> <p><u>③地域医療の再生</u> を掲げられているが、</p> <p>その中で私、昨年6月議会で、高齢社会を迎え「小規模高齢化集落」に配慮し、集会所の基本水量などについて、前6月議会では、地域医療の観点から「むつみ診療所」の今後の整備方針等について質問し、</p> <p>今回は、<u>高齢者の足の確保</u>についてお聞きする。</p> <p>現在、萩市は高齢化率が山口県の中でもトップクラスである。</p> <p>その中、高齢者福祉の充実を図る意味でもいろいろな支援体制や自助、共助、公助のあり方についても具体的な対策など検討されると思う。</p> <p>むつみ地域は日常的な、こまごました生活必需品は農協販売所もあるが、食料品店など量販店がない。</p> <p>交通手段は鉄道もなく、萩市街地へ買い物に行くにも、車、バスに頼るしかない。</p> <p>しかし、超高齢化とともに車の運転、また、免許証の返上で運転できなくなったという不安、一人暮らしで具合が悪くなった時の不安もある。</p> <p>こうした中、皆さんは「ぐるっとバス」も利用しながら中には防長バスを利用し、診療所、市街地の医療機関への通院も兼ねて、量販店、スーパーで買い物をされている。</p> <p>自助、共助の考え方で、乗り合いでいとか、元気な高齢者が頑張ればいいと思うし、やっていかなければならないと思っているが、やはり公助、行政としても何か支援が考えられないか。</p>

	<p>聞くところによると、山口市では阿東町との合併時、70歳以上とか、障害者手帳の交付を受けている方とかにバス事業者と協議され、乗車距離にかかわらず、無料か1回の乗車につき100円の負担で済むとのことである。</p> <p>むつみ地域は旧阿東町とも隣接していて、比べられる方もおられる。</p> <p>バス路線は運営上、市が車を出すのはなかなか難しい、路線への補助もされているのも承知しているが山口方式など参考に支援ができないものか。</p>

質問順位	4	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市内小規模河川の治水対策は大丈夫か	<p>7月28日、萩市や山口市などを記録的な集中豪雨が襲いました。</p> <p>萩市では、須佐・田万川・むつみ地域で、人的被害を含め甚大な被害が発生しましたが、その大きな原因の一つに、河川の氾濫があげられます。</p> <p>特に須佐川では、30年前の昭和58年、そして更にその20～30年前にも氾濫による大規模な水害が起こったと聞きました。</p> <p>そこで、今後この須佐川の治水対策について、市民の生命・財産を守る立場にある市長は、どの様に考えているのかお尋ねします。</p> <p>また、市内にある須佐川のような規模の河川では、どのような治水対策をとっているのか、併せてお尋ねします。</p>		

質問順位	5	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 集中豪雨被害の対応について	<p>7月28日に発生した、これまでに経験したことのない集中豪雨により、ここ萩市は甚大な被害を受けた。被災地は、萩市東部の須佐・田万川・むつみ地域であり、いづれも過疎化が進展している地域である。今回の被災を機に、移住、離職（特に農業従事者）を考えている人たちも少なからずおり、過疎化がより進展する懸念がある。今後、どのような大局観をもって、地域運営を行っていくのか、まずは市長のお考えをお伺いしたい。それ以外の質問事項は下記の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復旧・復興に際し、最大の問題となるのは、生活再建を行う被災者の経済環境である。被災者生活再建支援制度の適用により、住宅被害に対して支援金が支給されるが、その金額は、ごくわずかである。この制度以外に、今後、萩市として、経済援助を行う考えはないか、お伺いしたい。この場合、財源が問題となるが、こういう非常時にこそ、萩市が運営する市営駐車場（中央公園・博物館）の料金を値上げし、それをもってして、支援原資としてはどうか。 2. 被災者生活再建支援制度に関して、家屋はあるものの、実際は萩市に居住していない世帯も対象になるのかも確認しておきたい。非居住世帯よりも実際に萩市に居住する世帯に、より手厚い手当を、というのが個人的な見解である。 3. JR山陰線の復旧見通しについて。早期の復旧を望むが、それに対するJR西日本の対応はどうか。 4. 最後に、被災初期、そして今、現在も問題となっているのは、被災廃棄物の仮設置き場である。これは、できるだけ被災地域最寄りに確保されることが望ましい。よって、この点については、最大限留意され、ご対応を頂きたい。今後の萩市の迅速な復旧・復興活動に期待する。 		

<p>2. 外国人の誘致に力を入れて、京都市に次ぐ観光都市を目指そう</p>	<p>今年度に入り、萩市を訪れる観光客が激減している。この原因が、7月28日に発生した集中豪雨被害に伴う風評被害によるものと解釈すれば、問題の本質を見誤ってしまう。観光客の減少は、集中豪雨以前から指摘されていた問題である。まず、なぜ観光客が減少しているのか、その理由をご説明頂きたい。</p> <p>次に、今後どのような観光戦略をもって、この問題に対処するのか、お伺いしたい。明治維新150周年関連のイベントについては、すでにご説明を頂いている。その後を見据えた長期スパンの観光戦略の提示が必要である。</p> <p>個人的には、京都市に次ぐ、観光都市を目指すべきだと考える。それだけの資産（文化財・史跡）はあり、あとは発信力の問題である。例えば、京都市は外国人観光客が最も訪れるまちである。しかし、萩市はどうか。ここ3年強、萩市の市議会議員として、萩市の観光施策をつぶさに見つめてきたが、外国人を呼び込もうとする姿勢が欠けている。フランスの観光旅行誌には、ここ萩市は3ツ星の評価を受けているにもかかわらず、それを「てこ」にフランス人観光客を誘致しようとする姿勢も見られない。</p> <p>観光庁も平成28年までに、訪日外国人観光客を1,800万人、平成32年初めまでに2,500万人とする目標を持っている。観光庁とも情報交換を密に行いながら、外国人観光客の誘致にもっと力を入れてはどうか。折しも、外国為替は円安トレンドである。外国人観光が訪日しやすい環境は整いつつある。ダイナミックな観光戦略に期待したい。</p> <p>最後に、中国・四国地方の近県都市においては、LCC（格安航空会社）を活用して、外国人観光客の誘致に成功している自治体がある。萩市も萩・石見空港に補助金を拠出している立場から、萩・石見空港へのLCCの誘致要請ができないものか、お伺いしておきたい。</p>

質問順位	6	質問者	椋 晶 雄 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 7. 28 記録的豪雨災害について	<p>7. 28 記録的豪雨の実態を把握し、今後の市の防災施策や復興施策に反映させることが必要。</p> <p>市民の生命・財産を守るために、保育園などの公共施設の備えや立地、地域の医療体制、河川や道路のあり方、避難場所の適否などの検討、更には生活支援など人口流出防止策もたいせつ。</p> <p>高齢者の多い地域での復興モデルとなる施策を市長に伺いたい。</p>		

質問順位	7	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 7月8月の豪雨災害の対応について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災ハザードマップの見直しについて 2. 緊急時の対応と住民の自治活動支援について 3. 国保料、住民税、固定資産税、軽自動車税、上下水道料などの税や公共料金の減免の方針について 4. 被災者生活再建支援金が利用できない人、再建に十分ではない人への市独自の制度設定について 5. 市独自の被災者支援について 各種支援制度の対象にならなかった人への支援 自動車を家財として認めることなど 6. 農林水産業、商業の復興への支援について 例) 被災者農業者向け経営体支援事業への上乘せ、復旧工事の負担軽減など事業継続に向かう意欲がわくような支援について 7. 来年度の営農に間に合うような農地農業施設の復旧、間に合わなかった場合の対応について 8. 農業共済金の早期支払いについて 9. 農業用水確保のための燃料代、電気料の助成について 10. 復旧事業が被災農林漁業者や事業者に経済的補てんをもたらす仕組みについて 11. 小学校、保育園、小川支所などの公共施設の復旧について 12. 須佐地区の医療環境について 13. 河川や道路、農地など原形復旧では問題解決しない箇所は改良復旧をすすめることについて 例えば須佐川(松原、中津)、県道高岩橋周辺、国道191号須佐トンネル周辺 14. 河川の浚渫、小河川の早期浚渫 15. 職員削減計画の停止について 16. 防災訓練の見直しについて 17. 市民一丸となって復旧復興を目指す取り組みについて 		
2. 高校生学生寮の設置と通学環境の改善について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 萩に高校学生寮の設置が求められているが、市長はどのように対応するか。 2. 高校生の通学に欠かせないJR便の改善について 		

質問順位	8	質問者	広 兼 義 烈 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 7月28日の豪雨災害の復旧について問う</p>	<p>1. 災害を受ける前の日常生活に一日も早く復することが最大の課題であることはいうまでもない。 そこで 1) 災害を100%復旧する 2) 被災地域の過疎化の誘発にならないよう施設の充実を図る 3) 農地を農地として次の世代に引き継ぐ 以上の3点は市（地方公共団体）の意思であることを明言していただきたい。</p> <p>2. 住むところが確保されてこそ生活ができる訳で住宅被害の復旧について問う。 1) むつみ、須佐、田万川の3地域で1000棟以上の住宅が被害を受けている。市としてどのような支援策を講じているのか。 2) 仮設住宅が建設されつつあり、ありがたいことだが足りるのか。 3) 被災者生活再建支援法の適用条件と支援額を問う。 4) 被害を受けられた市民に市独自に見舞い金を送ることはできないか。 5) 衣類、家具、電気製品等を失い、住むところもままならない高齢者、一人暮らし、病弱な方もおられることと思う。精神的な支えも必要である。対策は講じているのか。</p> <p>3. 道路の復旧を加速していただきたい。復旧計画を問う。 1) 国道315、191の復旧工事はいつ終了する予定か。 2) 県道の復旧の見通しについて問う。 津和野・須佐線・・・大字鈴野川字芦谷から津和野町方面全面通行止め 弥富・小川線・・・全面通行止め・・・いつになったら通れるのか。 3) 市道は身近な生活路線 早期復旧を</p>		

中津・坂根線・・・中畑 唐津地区の復旧急務
以下弥富地区
及び谷線・・・全面通行止め 一区住民の生活道
馬取線・・・各所で復旧工事必要 危険箇所あり
下り谷線 檜木線 阿武台線 上向線 道切線等

4. 河川の復旧の見通しについて問う。

- 1) 県が管理する河川について。
- 2) 市が管理する河川について。
- 3) 河川内の流木等の取り除きについて。

河川をふさいでいる流木等を取り除かないと次の雨で被害が拡大する。取り除いていただきたい。

5. 農業用施設、農地の復旧について問う。

- 1) 短期間で復旧しなくてはならない。14年3月までにどのくらい復旧の見通しか。年数がかかると農地の荒廃と離農が続発する。
- 2) 受益者負担の軽減について問う。
5%程度の負担と聞いているが2%程度までに軽減できないか。

6. 治山行政について問う。

今回の豪雨で甚大な被害が出た要因に山地崩壊が多数おきたことがあげられる。治山行政の充実を図ることが災害の抑制と林業振興になると思う。今後の方策について問う。

7. 林道 作業路の復旧について問う。

搬出間伐どころか現地に行けない。林道、作業路とも壊滅的な被害を受けている。作業路も林道と同様支援の道を開いていただきたい。

8. 地域防災計画について問う。

時間雨量138ミリという集中豪雨に市が対応できなかった点もあったように思うが日曜日で職員が少ないなか、よく対処されたと思う。

	<p>この度のような災害が市の広い範囲に及ぶ可能性は否定できない訳で今回の災害を分析、検討して災害を少なくするための地域防災計画を立てていただきたい。</p> <p>そのためにも、職員で、むつみ、須佐、田万川地域の災害の現場に行かれたことのない方は是非実態を見聞され防災計画策定に参画していただきたい。</p>

質問順位	9	質問者	斉藤真治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 防災における自助・共助・公助から公助のあり方について	<p>防災における公助のあり方について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難勧告指令に伴う情報伝達 2. 防災行政無線の徹底と無線または有線放送器材の設置 3. 土砂災害を未然に防ぐ対策などハザードマップの危険箇所への事前対策 4. 1級・2級・市管理河川内の雑木（やなぎ、アシ）等、中洲（なかす）、寄洲（よりす）の撤去 5. 白水小学校屋外運動場に面する2級河川玉江川側（元、白水保育園）の樹木（メタセコイア）の撤去 6. 被災した須佐保育園の再建復興 		
2. 「景観」行政について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 屋外広告物（一般広告物）の許可基準の見直しについて <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域別基準8項目の内容の見直し 2. 寄附行為に関する植樹等の規程・基準について <ol style="list-style-type: none"> 1) 植樹の場所の決定等の規程・基準 2) 陶芸の村展望台の付近の植樹と景観 		

質問順位	10	質問者	木村靖枝 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 福祉行政	介護保険における家事援助サービスについて 利用者が保険給付外のサービスを自己負担で希望した場合 の事業者の紹介について		
2. 教育行政	学校施設の耐震化の進捗状況について		

質問順位	11	質問者	世良眞名夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 観光行政について	1. 萩市観光の現状と今後の観光施策について		
2. 教育問題について	1. 学校教育施設の整備状況について		

質問順位	12	質問者	西元 勇 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 国道191号に架かる大井橋の架け替えについて	7月13日午後5時3分大井橋橋上で交通事故が発生。交通止め、そして片側交互通行規制。規制時間合わせて約1時間30分。長蛇の車列は延延阿武町へと続き多くのドライバーの足を止め不安と焦燥のるつぼと化しました。大井の七不思議の言葉も使えなくなった今、次の人身事故が起こる前に橋梁の架け替えができないものをお尋ねします。		
2. 大井川の適正な管理について	山口、島根両県を襲った7月28日の豪雨は、テレビ・ラジオ等の第一報が大井川を中心にしたものであったため全国に大井の暴れ川の宣伝をすることになりました。今年に入って今回で二回目の避難サイレンの吹鳴となり避難者を収容しました。二度あることは三度と言います。致命的な欠陥を持つと言われる大井川の今後の対策をお尋ねします。		

質問順位	13	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 防災行政	<ul style="list-style-type: none"> 1. 防災体制の確立 2. 阿武川ダムの補強対応策は万全か 3. 高潮対策は万全か 		
2. 山口福祉文化大学の理事として	<ul style="list-style-type: none"> 1. ゆらぐ萩学園、山口福祉文化大学の経営体制について 2. 学生募集について 		
3. 観光行政	<ul style="list-style-type: none"> 1. 費用対効果について 		